



EVENT

イベントのお知らせ

お出かけ前に最新の情報をHPなどで必ず確認してください。

まちライブラリー HP machi-library.org/

静岡 伊東

1/16 本をきっかけにつなごう！まちライブラリーのススメ ～公立図書館とまちライブラリーとの連携について～

癒しと憩いのライブラリー(サザンクロスリゾート内)14:00～16:00 定員30名 参加費無料(要事前予約)
12月に予定されながらも中止となっていた講演会が1月に仕切り直して開催されます。

東京 神保町

1/25 神保町散歩

まちライブラリー@ブックハウスカフェ 13:00～神保町散歩(80分程度)・14:30頃～磯井純充講演会 参加費2000円
神保町の新旧の書店を訪ねたり、日本で最初にウィナーコーヒーを出した喫茶店の紹介をしたり、ブックハウスカフェ内の
バーで遊んだり？ 世界一の本の街を楽しみましょう！
<https://bookhousecafe.stores.jp/.../5fc9b42bdf51593770957175>

New! まちライブラリーの紹介

新たに仲間入りした各地のまちライブラリーです。

開館日時など詳細は、まちライブラリーHP「まちライブラリーに行こう！」で検索できます。(No.は登録番号です)

NO. 805 (兵庫 小野)

まちライブラリー miraien

自然豊かな古民家と畑体験を楽しむまちライブラリー。
農やハーブガーデン、自然療法などを、実践と本を通じて
学び合う場です。ハーブを活用したランチ会、オーガニック
クランチなども企画していきます。

• Web: <http://al-village.org/>

• オーナー: NPO法人 オルタナティブビレッジ 横田真由美

NO. 806 (兵庫 たつの)

妄想の種まちライブラリー

築60年の民家の押し入れを改造した「つなぐデザインま
ちライブラリー」隣接の本棚です。えかき・ものづくり作
家であるオーナーが集めた資料・歴史・文化・クラシッ
クカー・サイエンスや宇宙…雑食感満載の趣味的資料
文庫です。

• Facebook: <https://www.facebook.com/yoshinobu.douno>

• オーナー: ドウノヨシノブ

NO. 807 (大阪 大阪市北区)

まちライブラリー北勝堂【2021年春オープン予定】

町内会などの旧来コミュニティ組織の担い手が減少して
いる西天満のまちで、多世代が本をきっかけに出会い、知
りあい、困ったときには「助けて」と言いあえる、そんな当た
り前の暮らしができればと願っています。文庫本や絵本、
まちづくり、介護など2,000冊ほどを閲覧・貸出できます。

• オーナー: 福井英夫

NO. 808 (富山 砺波)

ごしょカフェとなみ富山まちライブラリー

人と人とのつながりが持てる「話せる小さな居場所」。絵
本、動物や風景の写真集、子育て、小商い、まちづくり、
鉄道、紅茶に関する本が多めです。月3回程のイベント開
催時は小麦・卵・乳・白砂糖を使わず、米粉で作るやさし
いお菓子の販売も。お気軽に遊びに来てくださいね。

• Web: [ごしょカフェ](https://www.facebook.com/goshocafe)• Facebook: <https://www.facebook.com/goshocafe/>

• オーナー: 鍋澤充孝

NO. 809 (長野 茅野)

みずずLibrary&Bar(蓼科親湯温泉)

みずず書房の社主が茅野市の出身であり、岩波文庫の
創業者も諏訪市の出身であることから、日本の文学、哲
学に多大な功績を残し続けているこの土地を誇りに思
い、その名を冠したスペースを創りました。約3万冊の蔵
書をワインやウィスキーを片手に愉しんで頂けたらと
思っております。

• Web: <https://www.tateshina-shinyu.com/>

• Facebook:

<https://www.facebook.com/tateshina.shinyu>

• オーナー: 蓼科 親湯温泉

NO. 810 (北海道 千歳)

まちライブラリー@晴レルモキッチン

昼間はおにぎり専門店(就労支援事業所)、夜は飲食店
(やきとりや)として営業しています。小さなお子様からご
年配の方まで幅広く「本と食」でつながることで、お互い
に安心して日々豊かに過ごせることを目的としています。

• オーナー: 晴レルモキッチン(就労継続支援B型事業所)

米澤緒子

NO. 811 (兵庫 明石)

まちライブラリー@ウィズあかし

窓から明石城や明石海峡が見える「複合型交流拠点
ウィズあかし」にできたまちライブラリー。7階には主に男
女共同参画・生涯学習・市民活動に関係する本や最新
の雑誌があり、ウィズあかしサポーターの皆さんがテーマ
別に本にレビューをつけて展示してくださっています。
8階には子どもたち向けの本がたくさんあります。気軽に
遊びに来てくださいね。

• Web: <https://a-machi.jp/center/>

• Facebook:

<https://www.facebook.com/withAKASHI/>

• オーナー: 一般財団法人明石コミュニティ創造協会

NO. 812 (岡山 早島)

まちライブラリー@早島町観光センター

古い蔵を改装した落ち着いたあるスペースで、本を通じ
て地域の子どものための居場所となることを目指していま
す。絵本や児童書、子育て関連の本を中心に揃えていま
す。テーブルは5席。大きな量のベンチに座って読んだり、
テラス席で読むこともできます。

• Facebook: <https://www.facebook.com/hayashimakanko>

• オーナー: 上山ひとみ

NO. 813 (三重 伊賀)

まちライブラリー@陽だまり文庫

「子どもがのびのび育つ社会(地域)づくり」を目標に、本
を介在に子供のためのお話会や子育て講座などの支援
活動をしています。お茶ができるコーナーや作品展示など
地域の方の交流の場(サロン)としての活動もしています。

• Web: <https://hidamaribunko.jimdofree.com/>

• オーナー: 上山ひとみ

NO. 814 (長野 茅野)

まちライブラリー@My Book Station 茅野駅

一棚ごとに「本棚オーナー会員」がいる、147の多様な
「本棚」が茅野駅前のワークラボハケ岳内にオープン。み
んなの「本」に囲まれた空間で、思い思いの時間を!

• Web: <https://mybookstation.machi-library.org>

• オーナー: 一般社団法人まちライブラリー



まちライブラリーの本質とは ～柔軟性と公共性のあいだ～

Wishing you a Happy New Year!

明 けましておめでとうございます。
2021年は2011年から始まったまちライブラリーにとって、10年目という節目の年となります。昨年はコロナウィルスのパンデミックによって、多くの人が生活の変更を余儀なくされ、今もってその状況から脱せずにはいますが、私自身にとっては、まちライブラリーをテーマに博士論文(注)をまとめ上げ、コロナ禍でオンラインを活用したブックフェスタ・ジャパンを開催できた年でもありました。したがって、これまでの軌跡を整理する一年になったともいえるわけですが、それを2021年以降、どのように活かしていくのかということを経験から考えています。

近年、個人やグループ、あるいは企業、行政などから、まちづくりや地域活性化という観点で、まちライブラリーの活用に関する問い合わせが多く寄せられるようになってきました。それぞれのケースに応じてお話をうかがい、開設のお手伝いもいたしておりますが、そうしたやり取りの中で、たびたび私が立ち返る視点は、まちライブラリーの本質とは何かということです。

「本質」というと、何か確たる絶対的なもののように考えがちですが、私はまちライブラリーの本質を考えると、しなやかさを思い浮かべます。その想いに近い「本質」を言い表してくれて

いるのがスピノザです。17世紀の哲学者スピノザは、本質を変えないものではなく、変わり得る力であると捉え、その力がより柔軟に生き生きと活動的になる組み合わせを見つけることが喜び多く生きるコツであると唱えました。

まちライブラリーは現在約800カ所ありますが、これは私が広げたというのではなく、むしろ運営している人たちそれぞれの持っている本質が広げたような気がします。自分の力で何かできないだろうか、自分の持っている課題に挑戦するにはどうしたらいいだろうか、そういった問いを持った人たちが、自身の潜在的な生きる力、つまり本質をまちライブラリーを通して発揮した結果、このように全国に広がったのではないかなと思えるのです。

本で人がつながる活動として私が私的に始め、同じような想いの人たちが各地で始められたまちライブラリーですが、今では、きわめて公共的な役割を担うようになっていくところも出てきています。そうした活動の様子を見て、まちづくりや地域活性化と結び付けた開設の問い合わせが増えているのだと思います。

図書館法上、自治体が設立するものを公立図書館とし、赤十字社、社団法人、財団法人がつくるものを私立図書館、その他同種の図書館と分類されていますが、ここには「公共」とい

う言葉は一度も出てきません。行政のつくったものを公共図書館と称していますが、私立図書館やその他の図書館の中にも十分公共性を持ち得るものがあるということを、私はこの10年間の経験から気付かされました。

公共とは何か。誰もが利用できるものが公共なのかというと、必ずしもそうとは言えないと思います。それぞれの場を運営する人の価値観、主義、方針などが十分尊重されて、それを共有したい、あるいは共感する人が集まり、利用できるものを提供することも公共的な役割を担っているといえるのではないかと考えるからです。すべての役割を一つの場所で果たすのではなく、同じ思いや価値観を持った人が集まれる場所があること、それが多種多様にあることにこそ公共性があるのではないのでしょうか。多様な人が多様な選択をし得ることを公共性と呼ぶならば、800カ所に広がったまちライブラリーは800種類あるといえますし、それぞれの場所ごとの出会い(組み合わせ)があることこそ公共性の本質なのではないかと考えます。

公共性を維持するためには信念が大事だと思われがちですが、信念に固執しすぎたり、あるいは理論に拘泥しすぎても駄目なのではないかと思っています。アダム・スミスが『道徳感情論』

第6版を1790年に亡くなる直前に改訂した動機は、1789年のフランス革命をきっかけに、理論に傾斜した人たちが急速で、自らの理想に陶酔した社会改革をすると問題が大きすぎると危惧したからです。柔軟な信念、いわば時と場合と相手に合わせたしなやかさを持ち、それと同時に、自分の想いと人の想いの組み合わせを考えることが公共の本質なのではないでしょうか。

2021年もまちライブラリーは、柔軟で多様な公共のあり方を考え、本質を大切に、皆さんと共に楽しんでいきたいと思っています。

(注) 大阪府立大学博士学位論文サイト
<http://doi.org/10.24729/00016913>

2021年1月

まちライブラリー提唱者 磯井純充
連絡先 mail: MSJ00657@nifty.com